

Denis Dufour

ドゥニ・デュフル

通訳

檜垣智也

ミュージックコンクレートの現在形



フランス発祥のミュージックコンクレートの歴史的展開と現在の状況を概説。

作曲家であるデュフル氏の自作品の解説をもとに、ミュージックコンクレートの作曲法についての講義。

作曲学科特別授業

作曲家

フランス・ベルビニャン音楽院作曲科・教授

MOTUS ディレクター

国際アコースマティック芸術フェスティバル「FUTURA」ディレクター
INA-GRM メンバー（1976-2000）

1953年フランス・リヨン生まれ。フランス国立パリ高等音楽院で作曲をイヴォ・マレック、ギ・レベル、ピエール・シェフェール、ミッシェル・フィリポ、アナリーゼをクロード・バリフに学ぶ。

1976年から2000年まで、INA-GRM（フランス国営ラジオ放送局・視聴覚研究所音楽探究グループ）のメンバー（作曲、研究）として、SyterとAcousmographeなどの開発に携わる。またTrio GRM Plus / TM+ や Les Temps Modernes、アンサンブル・サンタックスなど多くの器楽アンサンブルや、国際アコースマティック芸術フェスティバルFUTURA、コンサート・プロダクションMOTUSを設立する。1980年から1995年までリヨンの音楽院で器楽とアコースマティックの作曲を教え、現在はベルビニャンで教鞭をとっている。2001年から2004年までケルゲネック現代芸術センター（モルビアン）のレジデンス・コンポーザー。1981年以来、多くの作品の創作を著述家であるトマ・ブランドとの共同作業で行う。作品解説も彼の手によっている。世界中で演奏される彼の作品（オーケストラ、室内楽、歌曲、混合作品なども含む）は、現在135を超えている。

2007.5.28(mon)

17:00 - 19:00

南校舎 C511

対象学生

作曲学科生全学年。短大デジタルミュージックコース（6時限目に他科目が重なっている場合は選択）

他学科・コースも聴講可